

Shirayuri

仙台白百合女子大学後援会報

No.3
2014.3

仙台白百合女子大学後援会



Contents

- | | | | |
|-----|----------------|---|---------------------------|
| 2 | 学長挨拶
後援会長挨拶 | 6 | 2014(平成26)年度 行事予定
理事名簿 |
| 3 | 部会活動報告 | | 理事募集中 |
| 4・5 | 事業活動報告 | | 事務局より |
| 5 | 部会再編 | | 編集後記 |



大学変革の嵐の中で後援会に期待する

仙台白百合女子大学 学長 石出 信正



グローバル化、少子高齢化社会の進展を基盤に、大学にも改革を迫る声が政府、財界、メディアから強く寄せられています。また最近の報道では管理能力に欠け財政不安のある大学は淘汰すべきだとの意見が政府から出されています。本学におきましては数年前から学科再編、教育システムの見直しをはじめとする「教務改革」、無駄がなくメリハリの利いた投資を目指す「財政改革」、社会に対する大学の魅力を拡大する「入試・広報改革」を進めてまいりました。平成25年には大学の基本的な質を担保すべく大学基準協会の審査を受け、このたび認定されたとの連絡を受けております。

最近の文部科学省は大学の機能分化を求めています。本学を含め多くの大学はかつてのエリート養成校ではなく一般職業人としての知と技能を持ち地域社会に貢献できる人材の養成を目指

しています。また、入学時の学生の能力も多様化しています。このような変化に対応すべく本学では数年前から初年次の基礎教育（リメディアル教育）に力を入れていきましたが、それを発展させ平成26年度から「学修支援センター」を設置し、自宅での自習を含めた学習の仕方を支援してゆきます。さらに今後は入学前教育、卒業生への教育支援へと発展させ卒業生の誇り（ロイヤルティー）の増進を図ってゆきたいと思っております。また心身の障害を持った学生さんなど「特別な支援が必要な学生」への対応も充実させてゆかなければなりません。

職業人としての知と技能を認定していただく資格試験の合格率も、より一層向上させていかなければなりません。同時にカトリック系の女子高等教育機関としての情操教育も欠かせません。

後援会会長挨拶

仙台白百合女子大学後援会 会長 千葉 隆政



仙台白百合女子大学後援会会員の皆様におかれましては、日頃より後援会活動へのご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

2013年4月から第2代の会長という重責を担うこととなりました。この一年、会の目的とする「在学生保護者・大学教職員との連携を密に一致協力した活動を通じて、学生生活の向上、更には大学発展への寄与、会員相互親睦を図ること」に向け、滞りなく事業を進めることができました。

まず、2013年6月に開催された後援会総会で、次のような事業計画を決定しました。

- 2012年度に続き、「奨学金部会」、「課外活動支援部会」、「キャリア支援部会」、「広報部会」の4つの部会で事業を展開する。
- 後援会事業として、ステラマリスへのピックアップ設置と、「ルルドの泉」への「マリア像」の寄贈

等を行う。

3 会費の10%を積み立て、数年後の大きな支出に備える。

この事業計画に基づき、2カ月に1度程度「理事会」を開催し、事業運営と進捗状況の管理を行ってまいりました。こうした中で、理事会での議論の中から、新たな取組が提案され、理事の皆様と協議し、実行に移しました。

まず、後援会のPRと会員間の親睦を図るため、「百合祭」に初めて参加しました。模擬店を設け「ポトフ」を調理・販売するとともに、東日本大震災からの復興支援として、海産物や被災地の皆さんの工芸品、被災地訪問のガイドブックの販売を行いました。

また、積立金の使途として、2014年度に学生活動用のワゴン車の購入を計画していましたが、消費税率引き上げが決定されたことから、1年前倒しして2013年度に購入しました。

このように、2013年度においては、

後援会の皆様方には、発足以来これらの活動に多大なご協力をいただき感謝申し上げます。恒常的な教育活動につきましては、もちろん授業料と国からの補助金によって運営してゆくことが基本ですが、奨学金など災害時の相互扶助、資格取得への支援、スポーツ・課外活動への支援、大学のロイヤルティー増進のための広報活動、ルルドの泉など学内の宗教施設整備の補助など、国の補助金を含めた予算からは執行しづらい活動も大学には多くあります。いままで後援会の皆様がこれらの活動に積極的に援助していただけたことは感謝に堪えません。

大学改革の嵐の中で今後とも本学の改革の試みをご支援いただき、機動的にご援助いただけたら幸いです。

理事各位のご提案とご協力により、当初計画以上に後援会活動を充実させることができましたが、実質3年目となる2014年度には、さらに後援会活動を進化させていきたいと考えております。このため、これまでの活動状況・内容も踏まえ、大学連携部会、事業部会、広報部会の3つの部会制に改め、後援会活動を進めていくこととしております。

今後も継続した後援会活動によって、さらなる大学の発展、一人ひとりの命が輝く学生育成への貢献を行うためにも、会員の皆様方には、ますますのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

部会活動報告

奨学金部会活動報告

2013年、仙台白百合女子大学後援会奨学金部会では、経済的理由のため学業継続が困難と認められ、学業成績、学習態度がともに優れた4人の学生に支援いたしました。

2013年7月3日、学長・学部長・学生部長・会計課長・学生課長・事務局長ら6名が奨学金の募集について検討いたしました。学内掲示及びHPにて募集し、締切後は、選考委員会にて「奨学金規程」、「奨学生選考に関する申し合わせ」に則り選考いたしました。その際には、日本学生支援機構の奨学金の第一種を基準といたしました。

2013年7月31日、学長・学部長・学生部長・会計課長・学生課長・事務局長ら6名が奨学金選考委員会を開き、全員一致で4件に奨学金を寄付することを決定いたしました。また、勉学奨励といたしましては、社会福祉精神保健福祉士・管理栄養士の国家試験合格のための対策講座受講料や模擬試験受講料、TOEIC受験料の一部などに援助いたしました。

課外活動部会活動報告

今年度、課外活動部会ではクラブ・サークル活動の活性化のため、体育館コートライン引き直し工事費用の一部補助をおこないました。

バスケットコートラインの公式な変更に伴い、バスケットボール部よりクラブ・サークル部長・顧問会議にてコートライン引き直しの要請がありました。検討する中で、体育館の複雑で、磨耗してきているバレーボール・バドミントン・テニスのコートライン全面の引き直しが提案されました。クラブ・サークルの活性化を課外活動の目標の一つと考えていることから、体育館全面のコートラインを引き直すこととし、その一部を補助いたしました。

体育館のコートライン引き直し工事は、8月26日から9月1日に行なわれ、9月5日より使用可能となりました。

学生の皆さんが学生生活をより有意義にするためにも、ますますの活躍を期待し今後も支援を続けて参りたいと思っております。



キャリア支援部会活動報告

日ごろから、本学のキャリア支援施策にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。今年度のキャリア支援部会の支援内容として、全学年を対象とした資格取得講座と試験対策講座を開催しております。

資格取得講座では、パソコン資格取得講座として「Microsoft Office Specialist」のWordを9名対象に8月21～23日に実施、Excelを18名対象に8月27～29日に実施し、後援会援助金より一人5千円を補助させていただきました。

試験対策講座では、「SPI3対策講座」を25名対象に9月10～12日に実施、「公務員試験対策講座」を36名対象に9月17～19日に実施しました。後援会補助金より、講座費用の半額（SPI3は12万5千円、公務員は16万8千円）をそれぞれ補助させていただいております。今後は、「筆記試験対策講座」を2月6～7日及び3月24～25日の四日間、「公務員試験対策講座」を3月26～28日にそれぞれ開催予定です。こちらも講座費用の半額を後援会補助金より補助させていただく予定です。

今後とも御支援のほど宜しくお願い申し上げます。

新しいコートラインになって

バスケットボールのルールの中でラインの変更があり、特に、スリーポイントとフリースローラインが大幅に変更されました。変更する前までは、以前のラインで練習していたため、スリーポイントやフリースローなどの間隔を掴むことができず、試合の際、慣れるまで時間がかかってしまうということがあります。それを学生課に訴え、学生部長や顧問の協力により、昨年の夏、変更して頂くことになりました。変更後は、部員一人ひとりがラインに早く慣れるように、週1回の貴重な練習の中で自主練習を多く取り入れています。変更後はまだ大会はありませんが、練習での成果を試合で発揮し、良い結果を報告できるよう、今後も部員全員で努力していきたいと思っておりますので、応援よろしくお願い致します。協力していただいた学生課をはじめ、学生部長、顧問、後援会の皆様など多くの方々感謝しております。ありがとうございました。

(バスケットボール部部長 佐藤 萌)

事業活動報告

白百合祭に参加して

白百合祭は学内サークル活動の発表を通して学内外の皆様に本校の活動状況に触れ、交流を深めていただくビッグイベントです。

「幅広い後援会活動を目指そう」という趣旨で白百合祭に初参加した今年は「暖かポトフ」販売の模擬店を出店し、さらに震災復興支援のためのコーナーを設けて被災地の海産物やグッズの販売を行いました。出店準備は何もかもが初めての事でしたが、広報部会メンバー皆様の大変なご努力により整い、時折泉ヶ岳の冷たい風が吹き荒れた2日間でしたが、学生の若さにも負けない元気魂（大人の意地！）で、呼び込み、そして販売と盛り上がり、大いに楽しみました。とりわけ『家庭風味の暖かポトフ』が好評で、ポトフ185杯と震災復興支援商品207個をお買い上げいただきました。沢山の方々から「美味しかったよ」と喜びの声を寄せて頂き、祭成功の一助になれたものと確信しています。このような活動に積極的に取り組むことの大切さを実感させられた白百合祭の2日間でした。

ポトフ販売

後援会が発足し3年目を迎え、初めて白百合祭に参加させていただきました。学生中心の大学祭に後援会が参加しているものかとの迷いもありましたが、大学、学生会の快諾を受け参加することになりました。

模擬店のメニュー選びから始まり、何度か変更を重ね『白百合ポトフ』に落ち着きました。学生の模擬店とかぶらず、寒い日に対応でき、温かい親心が感じられるものにしよう、その思いで保護者が一丸となり準備を進めました。

大学祭1日目は、前日からのあいにくの雨と風で予定数を減らしての開店となりました。初めての出店ということもあり、売る側もなかなか声が出ず不安が先行しましたが、昼すぎには完売することができました。評判も上々で、2日目の意欲が充進しました。2日目は、準備時間も短縮され、母たちの底力を見せることができました。負けじと父たちも設営に張り切り、隣で販売する学生たちにもフォローの手を貸していました。親たちのチームワークの良さか、昼前には完売というありがたい結果ということになり、感謝という一言に尽きます。

今まで、会議という目に見えない場に留まっていた後援会活動が、大学祭行事への参加で個々の意識も変化し、今後の活動に前向きに取り組む、という意欲の高まりにつながる事となりました。

白百合祭参加という機会を下さった大学・学生会・先生方・学生の皆様に深く感謝いたします。

被災地物品販売

今年の白百合祭は台風が心配される中での開催ではありませんでしたが、なんとか天候も持ちこたえ無事終えることができました。後援会では、初の試みと致しまして、模擬店に参加することになりました。調理販売と物品販売という二本立てで検討を重ね、調理のほうはポトフを、物品販売といたしましては被災地復興支援ということに焦点を合わせ、被災や復興の状況が掲載された本や、アクリル毛糸で編まれたエコたわし、手作りアクセサリー、井上海産物店からの商品の販売を行いました。次年度への改良点はあるものの悪天候にもかかわらず、たくさんの方々からのご協力を頂き、初めての参加としてはとても良い結果が残せたように思います。また、購入して頂いた方々から後日お礼があったとの連絡を受け、大変うれしく思いました。商品を提供していただいた皆様から感謝のことばをいただき、微力ながらも復興のお手伝いできたように思いました。

普段は会議が中心の後援会ですが、当日は会話を交わしながら調理をしたり販売をしたりと、学生に戻ったような楽しいひと時を過ごすことができ、親睦も深まったように思えます。また学生たちとも、同じ目線でコミュニケーションがはかれ、とても有意義な時間だったように思いました。最後に今回の模擬店参加に際しましては各方面の方々からご協力、ご尽力を頂き、また、売上にご協力を頂いた方々にも厚く御礼を申し上げご報告とさせていただきます。



ルルドの泉～聖母マリア像と少女ベルナデッタ像について

2013年度、仙台白百合女子大学後援会の事業の一つとして、「ルルドの泉」造営のお手伝いをさせていただきました。

この「ルルドの泉」は、東日本大震災で被災された方からたくさん庭石を無償で大学が譲り受け、大震災で亡くなられた方の鎮魂と慰霊のために、2012年度卒業記念品として造営されたものです。

ルルドは、南フランスのピレネー山麓にある町で、聖母マリアの出現と「奇跡の泉」をもって知られています。1858年、聖母マリアは、貧しい少女ベルナデッタの前だけに現れました。そして、ベルナデッタに告げた場所から水が湧き出しました。泉の水は、奇跡的な病の治癒をもたらしました。これが「ルルドの泉」です。

後援会からは、「ルルドの泉」造営にあたり、聖母マリア像とベルナデッタ像を寄贈させていただきました。



部会再編

2013年度は、後援会会員の皆様のご理解とご協力により、後援会の事業をいっそう充実・強化し、進めることができました。

2014年度からは、2013年度の活動状況も踏まえ、これまでの「奨学金部会」、「課外活動支援部会」、「キャリア支援部会」、「広報部会」の4つの部会を3つの部会に再編し、後援会事業を進めていくことといたしました。

その理由としては、①「奨学金部会」、「課外活動支援部会」、「キャリア支援部会」の3部会活動の業務の性質上、形骸化しがちなこと、②後援会の独自事業が充実してきていること、③

部会間の活動のアンバランスが大きくなっていることの3点が挙げられます。この現状を踏まえつつ、後援会活動を充実させていくため、次とおり3つの部会に再編することとしました。

- 1 大学連携部会：これまでの「奨学金部会」、「課外活動支援部会」、「キャリア支援部会」の3つの部会の活動を引き継ぎ、定形的に大学が主体として実施する事業への支援を行います。運営の際には、大学とのコミュニケーションをより密にしたいと思います。
- 2 広報部会：これまでどおり、広報誌発行、ホームページ制作、保護者

キャンパスライフの足として

今現在、学生の各種活動（実習、校外研修、ボランティア等）における移動手段として、大学が保有するスクールバスの利用要望は多いものの、大型バス1台では、日常の通常運行が優先され、個別の要望までは応えられないということで、各個人で対応しているのが現状です。そこで後援会では、大学の要望を踏まえ、学生・大学を支援する活動の一つとして、後援会事業積立金を活用し、少人数でも利用



する事ができ、学生の活動の場を広げる足として、ワンボックスライトバン（トヨタハイエース2700GL（10人乗り・4WD））（写真参照）を購入、寄贈することといたしました。年度内には納車されますので、学生の皆さんに大いに活用し、活動の場を今まで以上に広げ、キャンパスライフを充実した、より良いものにしてください。

後援会より卒業生へ記念品贈呈

昨年度より卒業生の皆様にお祝いの品といたしまして、実印の入る「印鑑ケース」をプレゼントしております。今年度も実施予定ですのでご紹介いたします。



向け講演会の開催・共催等を行いますが、インターネットの活用など広報体制の充実や講演会等の実施を検討していきます。

3 事業部会：後援会独自事業の企画や非定形的な大学事業への支援、「白百合祭」への参加、毎年度の積立金による「活動支援基金事業」などを担当します。

2014年度は、このような体制の下、会員の皆様からお預かりした会費を、さらに学生・大学のために生かすべく、取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

2014(平成26)年度 行事予定

前 期	後 期
4月 3日(火) 入学式(イズミティ21)	9月 19日(金) 後期授業開始
4月 5日(土) 白百合ウェルカム・フェスティバル	10月 18日(土) AO入試Ⅱ期
4月 9日(水) 前期授業開始	10月 25・26日(土・日) 白百合祭
6月 21日(土) 1・2年生保護者会	11月 8日(土) 姉妹校・指定校推薦入試
7月 29日(火) 前期授業終了	11月 15日(土) 公募推薦入試・姉妹校AO入試
9月 6日(土) AO入試Ⅰ期	11月 22日(土) 就職に関する保護者懇談会(3年生保護者)
	12月 13日(土) AO入試Ⅲ期
	12月 19日(金) クリスマス・コンサート
	1月 17・18日(土・日) センター入試
	1月 26日(月) 後期授業終了
	2月 5日(木) 一般入試A日程
	3月 3日(火) 一般入試B日程
	3月 17日(火) 学位記授与式

仙台白百合女子大学後援会 理事名簿

	氏 名	担当部会
会 長	千葉 隆 政	課外活動部会長
副会長	松浦 栄 子	広報部会長
副会長	石垣 達 雄	キャリア支援部会長
理 事	鈴木 茂 茂	課外活動
理 事	井龍 ひろみ	課外活動
理 事	黒須 淳 子	課外活動
理 事	庄子 裕 子	課外活動
監 事	草野 克 哉	広報部
理 事	清水 恵 子	広報部
理 事	新井 恭 子	広報部
監 事	山戸 早 苗	奨学金部会長
理 事	飯田 秀 美	奨学 金
理 事	幸野 寛 伸	奨学 金
理 事	三浦 光 子	キャリア支援
理 事	鈴木 俊 一	キャリア支援
理 事	渡邊 博 子	同窓会長
顧 問	石出 信 正	学 部 長
理 事	横石 多 希 子	学 部 長

	氏 名	担当部会
副会長	朝倉 充 彦	人間発達学科長
理 事	横尾 元 意	学生部長
理 事	浅野 浩 子	事務局長
理 事	高橋 千 恵 子	学生課長
理 事	石岡 宏 美	キャリア支援課長
理 事	佐々木 孝 二	大学広報室次長
理 事	八島 礼 子	庶務課長
事務局	吉本 陽 子	非常勤職員



後援会理事募集中!

後援会の理事を募集しております。
後援会は、保護者と大学および大学教職員との連携を密にし、学生生活の向上を図り、大学の発展に寄与する目的で設立され、理事は各種事業を実施するとともに(詳細はP3~P5をご覧ください)、2ヶ月に1回理事会があります。
一緒に活動していただける方は、後援会事務局までご連絡をお願いいたします。



表紙のステンドグラスは、「シャルトル聖パウロ修道女会の紋章」です。
本学記念館メディテーションルーム東側にあります。

上の部分:
ボース地方の黄金色に輝く麦の波を象徴する金色の地に、4本の麦の穂が描かれている。創立時の最初の4人の姉妹たちの象徴である。麦の穂は、「一粒の麦は、地に落ちて・・・死ねば、多くの実を結ぶ。」(ヨハネ12・24)との聖書の言葉に由来している。

左の部分:
地色の赤は、血の色であり、聖パウロの殉教を思い出させてくれる。開かれている書物は聖書である。そこには、ラテン語で *Omnibus omnia factus sum* (すべての人に対してすべてとなる)と書かれている。剣は聖パウロを象徴するものの1つであり、「霊の剣、すなわち神の言葉を取りなさい。」(エペソ6:17)との教え、および、その殉教を示している。黄金色の剣の握りは、神の言葉の豊かさを表し、先端は、戦に向かう軍の指揮官の剣のように、上に向けられている。

右の部分:
青色は、修道会の中心であるシャルトルの大聖堂の色であり、聖母マリアを象徴する色である。

盾の下部分には、修道会の標語
「REGULARITÉ (規則正しさ)」、「SIMPLICITÉ (質朴)」、「TRAVAIL (勤労の精神)」が掲げられている。

編集後記

今回の後援会会報誌はいかがでしたでしょうか。3号誌を発行することが出来ましたことは、皆様のご協力があってこそと感謝致しております。活動内容も年々充実し今年度は盛りだくさんの内容となっております。

私事ながら、私、一年目の新米理事です。多くの父兄が思うように、私に後援会理事が務まるのか不安でした。しかし大学に行く回数が増え、後援会として初めて参加した白百合祭で、キラキラと輝く学生さん達を目にした時、微力ながらもっと学生さん達の…大学の…お手伝いになることはないだろうかと考えました。

父兄の皆様には、一度でも二度でも大学に足を運び、娘さん達の真剣に取り組んでいる姿、友達と笑顔で語らう姿を見て頂けたらと思います。それが後援会活動の一步となり、何よりの娘さん達への応援になるのではないかと思います。

(by 蘭ちゃん)

仙台白百合女子大学後援会

〒981-3107 仙台市泉区本田町6番1号

TEL : 022-372-3254

FAX : 022-375-4343

E-mail : kouenkai@sendai-shirayuri.ac.jp